

## 硫黄鳥島

### ○概況（平成 17 年 8 月）

上空からの観測では、従来から見られている噴気が認められた程度で、火山活動に異常は認められませんでした。

10 日に海上保安庁第十一管区海上保安本部が行った上空からの観測によると、硫黄鳥島の硫黄岳火山火口（島の北側、図 2）とグスク火山火口（島の中央部、図 3）から弱い少量の白色噴気が確認されました。白色噴気は火口縁上の高さ約 500m まで上昇し、風によりたなびく程度で、火山活動には特に変化は認められませんでした。

なお、気象研究所と東京大学地震研究所が共同で実施している地震観測によると、期間中の地震活動に特に異常はみられませんでした。



図 1 硫黄鳥島 火口の位置

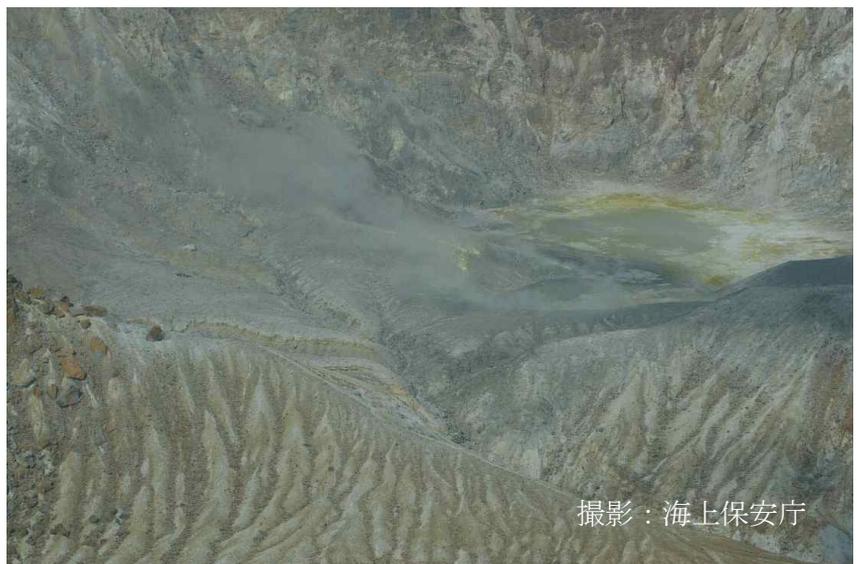


図 2 硫黄鳥島 硫黄岳火口（2005 年 8 月 10 日）  
弱い少量の白色噴気が認められた。



図 3 硫黄鳥島 グスク火山火口（2005 年 8 月 10 日）  
弱い少量の白色噴気が認められた。